



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <https://www.round1-group.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）杉野 公彦
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）岡本 純 TEL 06-6647-6600
 半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	91,985	6.9	14,949	7.4	13,347	8.7	8,852	1.8	8,852	1.8	8,802	29.8
2025年3月期中間期	86,031	—	13,918	—	12,279	—	8,694	—	8,694	—	6,779	—

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	33.75	33.63
2025年3月期中間期	32.21	32.13

当社グループの業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。
 EBITDA及び調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費

2026年3月期第2四半期（中間期） 35,844百万円

2025年3月期第2四半期（中間期） 35,062百万円

調整後EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費 + 非支出費用

2026年3月期第2四半期（中間期） 36,345百万円

2025年3月期第2四半期（中間期） 35,187百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	271,735	73,777	73,777	27.2
2025年3月期	259,914	66,883	66,883	25.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	4.00	4.00	4.00	4.00	16.00
2026年3月期	4.50	4.50			
2026年3月期（予想）			4.50	4.50	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	188,780	—	30,136	—	26,592	—	17,833	—	17,833	—	円 銭 67.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	288,789,042株	2025年3月期	288,477,042株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	26,289,095株	2025年3月期	26,288,775株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	262,303,908株	2025年3月期中間期	269,923,937株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約中間連結財政状態計算書	3
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	5
(3) 要約中間連結持分変動計算書	7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報)	10
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響は一部残るものの、雇用や所得環境の改善に加え、企業収益の回復や投資意欲の高まりが見られるなど、経済は緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、米国の関税政策や金融資本市場の変動等の影響で、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、日本においては、引き続きクレーンゲームの需要が高い傾向であることから、多種多様な景品を取り揃え、売上の向上に努めました。また、様々なコンテンツとの期間限定のコラボキャンペーンやお子様・小中学生向けキャンペーンを実施したほか、「ROUND1 LIVE」を使ったリモートイベントを開催することで、幅広い年齢層に向けた取組みを行いました。

米国においては、ミニクレーンゲーム機の増台を行ったほか、人気の景品を多数取り揃えることで、売上の向上に努めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益91,985百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益14,949百万円(前年同7.4%増)、税引前中間利益13,347百万円(前年同8.7%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益8,852百万円(前年同1.8%増)となりました。

なお、当社グループが運営する屋内型複合レジャー施設は、長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上収益が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

営業基盤を拡大すべく、新規店舗の出店準備を進めております。また、クレーンゲームにおいては当社オリジナル景品の種類を拡充したほか、様々なアーティストやゲームコンテンツ等との期間限定のコラボキャンペーンを積極的に実施し、幅広い客層の集客促進に取り組むことで売上の向上を図りました。さらには、スポッチャにおいて新アイテムの導入、アミューズメントにおいて無料キッズエリアの設置を行い、業績の向上に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比3.2%増、アミューズメント収入は前年同8.1%増、カラオケ収入は前年同5.5%増、スポッチャ収入は前年同3.5%増となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、新規店舗の出店準備を進めるとともに、ジャパニーズフードホール併設店舗の出店に向けた事業展開準備を行っております。また、ミニクレーンゲーム機を引き続き増台したほか、リデンプションゲーム等の新しいアミューズメント機器を積極的に導入し、売上の向上に努めました。なお、アミューズメントにおいて、料金の見直しを実施いたしました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同中間期比6.3%増、アミューズメント収入は前年同10.0%増、飲食その他収入は前年同8.7%増、スポッチャ収入は前年同6.8%減となりました。

(その他)

ラウンドワンデリシャスプロジェクトの事業展開準備を行っております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ11,820百万円増加の271,735百万円となりました。この要因は、現金及び現金同等物の増加9,103百万円等による流動資産の増加7,899百万円と、使用権資産の減少2,340百万円、有形固定資産の増加5,090百万円等による非流動資産の増加3,921百万円によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,926百万円増加の197,958百万円となりました。この要因は、未払法人所得税の減少1,738百万円、その他の流動負債の減少2,577百万円等による流動負債の減少3,173百万円と、リース債務の減少1,752百万円、社債及び借入金の増加9,122百万円等による非流動負債の増加8,100百万円によるものであります。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ6,894百万円増加の73,777百万円となりました。この要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益8,852百万円の計上、配当金2,228百万円の支払等による利益剰余金の増加6,623百万円等によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は27.2%(前連結会計年度末は25.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明

連結業績予想につきまして、2025年5月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。この主な要因は、当第2四半期連結累計期間の数値を実績数値としたこと及び当第2四半期連結累計期間の実績数値に基づき第3四半期連結会計期間・第4四半期連結会計期間の売上及び費用を修正したことによるものです。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	51,154	60,257
営業債権及びその他の債権	3,190	1,924
棚卸資産	4,908	5,779
その他の流動資産	5,541	4,732
流動資産合計	64,794	72,694
非流動資産		
有形固定資産	70,268	75,358
使用権資産	100,984	98,643
無形資産	926	805
持分法で会計処理されている投資	1,846	2,030
その他の金融資産	10,504	10,521
繰延税金資産	9,504	10,690
その他の非流動資産	1,085	991
非流動資産合計	195,120	199,041
資産合計	259,914	271,735

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,592	7,413
社債及び借入金	12,921	14,421
リース負債	28,049	27,750
未払法人所得税	5,230	3,492
引当金	120	62
契約負債	5,142	5,320
その他の流動負債	8,428	5,850
流動負債合計	67,485	64,311
非流動負債		
社債及び借入金	27,776	36,898
リース負債	88,469	86,716
引当金	7,126	7,186
その他の金融負債	1,634	1,134
繰延税金負債	—	1,191
その他の非流動負債	538	518
非流動負債合計	125,545	133,646
負債合計	193,031	197,958
資本		
資本金	25,665	25,759
資本剰余金	26,341	26,436
利益剰余金	31,723	38,347
自己株式	△20,005	△20,005
その他の資本の構成要素	3,158	3,240
親会社の所有者に帰属する持分合計	66,883	73,777
非支配持分	△0	△0
資本合計	66,883	73,777
負債及び資本合計	259,914	271,735

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	86,031	91,985
売上原価	69,133	72,398
売上総利益	16,897	19,586
販売費及び一般管理費	2,874	3,976
その他の収益	101	127
その他の費用	205	787
営業利益	13,918	14,949
金融収益	66	132
金融費用	1,827	1,938
持分法による投資利益	121	204
税引前中間利益	12,279	13,347
法人所得税費用	3,584	4,495
中間利益	8,694	8,852
中間利益の帰属		
親会社の所有者	8,694	8,852
非支配持分	△0	△0
中間利益	8,694	8,852
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	32.21	33.75
希薄化後1株当たり中間利益(円)	32.13	33.63

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益	8,694	8,852
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1	4
純損益に振り替えられることのない項目合計	1	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,909	△52
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△7	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,916	△55
その他の包括利益合計	△1,915	△50
中間包括利益	6,779	8,802
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,779	8,802
非支配持分	△0	△0
中間包括利益	6,779	8,802

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年4月1日残高	25,454	26,130	20,495	△10,004	3,308	2
中間利益	—	—	8,694	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,908	△8
中間包括利益合計	—	—	8,694	—	△1,908	△8
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
新株予約権の行使	116	116	—	—	—	—
配当金	—	—	△2,023	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	116	116	△2,023	△0	—	—
2024年9月30日残高	25,571	26,247	27,166	△10,005	1,399	△6

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権	合計			
2024年4月1日残高	13	259	3,582	65,657	0	65,658
中間利益	—	—	—	8,694	△0	8,694
その他の包括利益	1	—	△1,915	△1,915	△0	△1,915
中間包括利益合計	1	—	△1,915	6,779	△0	6,779
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
新株予約権の行使	—	△58	△58	174	—	174
配当金	—	—	—	△2,023	—	△2,023
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△58	△58	△1,849	—	△1,849
2024年9月30日残高	14	200	1,608	70,588	0	70,588

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2025年4月1日残高	25,665	26,341	31,723	△20,005	2,836	△1
中間利益	—	—	8,852	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△56	1
中間包括利益合計	—	—	8,852	—	△56	1
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
新株予約権の行使	94	94	—	—	—	—
配当金	—	—	△2,228	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	94	94	△2,228	△0	—	—
2025年9月30日残高	25,759	26,436	38,347	△20,005	2,779	△0

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権	合計			
2025年4月1日残高	19	304	3,158	66,883	△0	66,883
中間利益	—	—	—	8,852	△0	8,852
その他の包括利益	4	—	△50	△50	0	△50
中間包括利益合計	4	—	△50	8,802	△0	8,802
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
新株予約権の行使	—	△45	△45	143	—	143
配当金	—	—	—	△2,228	—	△2,228
株式報酬取引	—	177	177	177	—	177
所有者との取引額合計	—	132	132	△1,908	—	△1,908
2025年9月30日残高	24	436	3,240	73,777	△0	73,777

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	12,279	13,347
減価償却費及び償却費	21,143	20,894
減損損失	—	150
金融収益	△61	△127
金融費用	1,756	1,913
持分法による投資損益(△は益)	△121	△204
固定資産除却損	125	219
固定資産売却損	—	131
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	1,736	1,255
棚卸資産の増減額(△は増加)	142	△891
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△569	△1,139
その他	△551	657
小計	35,879	36,206
利息及び配当金の受取額	87	147
利息の支払額	△1,755	△1,860
補償金の受取額	216	—
法人所得税の支払額	△4,577	△7,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,849	26,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,774	△10,990
無形資産の取得による支出	△137	△195
敷金及び保証金の差入による支出	△31	△128
敷金及び保証金の回収による収入	96	104
その他	47	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,800	△11,174
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	—
長期借入れによる収入	19,800	15,000
長期借入金の返済による支出	△4,299	△4,305
社債の償還による支出	△171	△71
リース負債の返済による支出	△14,737	△14,901
ストック・オプションの行使による収入	179	145
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,023	△2,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,353	△6,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△430	△113
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,266	9,103
現金及び現金同等物の期首残高	36,463	51,154
現金及び現金同等物の中間期末残高	53,729	60,257

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に経営の意思決定機関を置き、国内外で包括的戦略を立案し、総合アミューズメント事業等を展開しております。

従って、当社グループは、経営及び企画の事業本部を基礎とした各国毎のセグメントから構成されており、「日本」及び「米国」の2つを報告セグメントとしております。

「日本」及び「米国」において国別に屋内型複合レジャー施設の運営を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、独立企業間価格に基づいております。

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	計				
売上収益							
外部収益	50,712	34,447	85,160	871	86,031	—	86,031
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	50,712	34,447	85,160	871	86,031	—	86,031
セグメント利益(△損失) (注) 3	9,359	5,080	14,439	△523	13,916	2	13,918
金融収益	—	—	—	—	—	—	66
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,827
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	121
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	12,279

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One

Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益(△損失)は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当中間連結会計期間において、運転資金として借り入れを行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の日本セグメントに係る預金(現金除く)の金額は、19,031百万円増加の40,183百万円、有利子負債(リース負債除く)の金額は、15,229百万円増加の37,467百万円、米国セグメントに係る預金(現金除く)の金額は、1,913百万円減少の6,380百万円、その他セグメントに係る預金(現金除く)の金額は、1,477百万円増加の1,823百万円となっております。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、要約中間連結財務諸表計上額と差異が生じております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	計				
売上収益							
外部収益	53,682	37,564	91,246	738	91,985	—	91,985
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	53,682	37,564	91,246	738	91,985	—	91,985
セグメント利益(△損失) (注) 3	10,803	5,128	15,932	△990	14,941	8	14,949
金融収益	—	—	—	—	—	—	132
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,938
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	204
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	13,347

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益(△損失)は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 当中間連結会計期間において、店舗出店のための資金として借入れを行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の日本セグメントに係る預金(現金除く)の金額は、7,704百万円増加の39,570百万円、有利子負債(リース負債除く)の金額は、10,622百万円増加の51,320百万円、その他セグメントに係る預金(現金除く)の金額は、5,243百万円増加の7,054百万円となっております。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、要約中間連結財務諸表計上額と差異が生じております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。